

関西 学友会



2009

ロータリー米山奨学生学友会(関西)



Rotary Yoneyama Scholarship Alumni Association

25

ロータリー米山奨学生学友会(関西)は関西地区に居住する
米山奨学生OB及び現役奨学生の同窓会です。

● 目次 ●

2—就任のご挨拶	朴 日
2—私の夢	笠原 隆之助
3—夢は大きく	磯田 郁子
4—私の夢	林 白玫
5—私の夢	宋 莉莉
5—私の夢	関 天放
6—私の夢	ROSHAN GURUNG
7—人生において取り替えることができない三年間—日本での留学生活	胡 佳筠
8—蓮の花のように	NGUYEN KHANH QUOC
9—私の留学と生活	朴 柱信
11—ハンゲルの優秀性	咸 鉉周
12—Fe-Pd合金の組織に与える磁場効果	Sahar Farjami
13—ネットワークの充実を目指して	林 小微
14—2008年度秋懇親会	陳 梅隱
14—2008年度懇親会旅行レポート	牛 童
16—社会奉仕活動のご紹介及びボランティアの呼びかけ	
17—2008～2009年度米山奨学生学友会(関西)役員リスト	
18—2008～2009年度会計収支決算報告書	
18—2009～2010年度会計予算(案)	
19—2008～2009年度会員リスト	
20—相談コーナー	
20—学友消息	
20—活動報告	
21—会報広告依頼	
21—編集後記	
22—LINK集	
裏表紙—2008～2009年度活動写真	

就任のご挨拶

会長
朴 日

(元世話クラブ：大阪東淀RC)



このたび会員の皆様のご推挙をいただき、ロータリークラブ学友会の会長を就任しました。

私自身、このような長い歴史と伝統のある団体の会長に就任し、誠に光栄に存じますとともに、その責任の重さを痛感しているところでございます。

我々の学友会は、ロータリーアン及び歴代会長をはじめとする多くの方々のご尽力により、親睦、国際親善に貢献できました。学友会の歴史を創ってこられたすべての皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

これから、私ども役員一同は、平成20年度の活動計画に基づき、学友会の運営をしてまいります。

学業、仕事で忙しい中、会員同士の親睦、社会への貢献などを中心に、魅力ある団体を目指し、全力をあげて取り組んでまいり所存でございます。

さらに、学友会の役割を十分認識し、会員のみならず、ロータリアンのみなさまにも、ご理解・ご信頼いただける活動してまいりたいと存じます。

ロータリアンおよび会員のみなさまには、今後とも、学友会の発展向上のため、これまで以上のご支援、ご指導を頂きます様、お願い申し上げます。簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。

私の夢

2008～2009年度第2660地区 米山奨学委員会委員長

笠原 隆之助

(茨木RC)



私は中学校を卒業して高等学校へ進学する頃に、猛烈な反抗期を過ごしました。「この世の中は嘘に満ちている、大人たちは不潔だ!」と思って自分だけは違うのだとうぬぼれていたのです。その反抗期を乗り越えられたのは、ベートーベン、チャイコフスキーの音楽と夏目漱石(ナツメソウセキ)の小説でした。特に「こころ」と云う小説は私にとってバイブルの様な存在であり、その一巻だけはボロボロになって、今も書棚に並んでいます。この「こころ」の中に出てくる大学生と「先生」と呼ばれる学者との関係が私の人生を決定づけたのです。私は自分の先生を見つけなければならないと思いました。禅寺に行ってみようか? そうしたら世の中の真実がわかるかも知れない、それより好きな音楽に毎日接してい

られるのでヤマハに行ってピアノのセールスマンになろうか?等々毎日悩んでいました。

そんな時、父が毎月購読していた「文藝春秋」という雑誌に福島慶子氏のご自分のご主人・福島繁太郎氏の事を書いた手記に出会ったのです。その福岡繁太郎氏の人生はとても面白く埼玉県の素封家(金持ち)に生まれた繁太郎氏は若くしてパリに留学しました。その頃のパリはエコール・ド・パリと呼ばれる時代でフジタ、モジリアニ、等々の絵描きがモンパルナスに溢れていました。若い繁太郎氏はすぐに「芸術」の虜になり、自分の家族と共にジョルジュ・ルオーと特に親しく付き合いました。又、「フォルム」という美術雑誌を発刊したりもしました。帰国しても家業は継がずに「フォルム画廊」という

名の画廊を開き、多くの将来有望な作家達(例えば、香月康男)を育てたのです。

私はこの福島慶子氏の手記を読んで日本以外の国のハイカラな光り輝く世界を夢見ました。そうだ！是非とも画廊に勤めよう。そしたら、本物の芸術家に会えるかも知れない、何か感動する事に会えるかも知れないと考え、父親の紹介でフジカワ画廊という所に勤めました。雨の降る日は画廊の整理、整頓、晴れた日は車(営業用の)掃除など丁稚奉公を始め半年程して毎日セールスに出かけました。簡単に高価な絵は売れるはずがありませんでしたが、これはと見込んだ会社に半年から一年通う間に少しは

信用を得て徐々に営業成績も上がりました。十年間勤めた後、独立してカサハラ画廊を開店しました。やっと自分が心から感動する作家、例えば英国のヘンリー・ムア、米国のイサム・イグチ等々多くの本物の作家に出会え、少しは「私の夢」に近づいた気持ちになりました。勿論多くの困難に出会いましたが、私の夢の実現のために熱き想いがあれば、何とかなる！と信じて生きてきました。

奨学生の皆さんも自分の夢の現実のために、雨の日も風の日も一心不乱に頑張ってください。夢は大きければ大きい程良いものです。あなた方には偉大な未来が待っているのですから！！

夢は大きく

2008～2009年度第2660地区 米山奨学委員会委員

磯田 郁子

(大阪東淀RC)



先日、2009年度奨学生選考面接を終えました。今年度も大学などから推薦された優秀な学生さんたちが面接に来られました。私は面接委員としてすべての方に「あなたの将来の夢は何ですか」という質問をしてみました。すると意外なことにほとんどの学生さんから「学位論文を完成させることです。」とか「目の前のことをこつこつとこなすことです。」という答えが返ってきました。その答えに私は少しがっかりしてしまいました。私が投げかけた“夢”というのは、“達成できないかもしれないが挑戦してみたいもの”というような意味合いのものだったのです。しかし、皆さんの答える夢はとても現実的であり、夢と言うには小さすぎると感じました。もちろん修士論文を完成させることは大きな目標であり今、最も目の前にある大切な課題でしょう。しかし私はその先にある“夢”を聞いてみたかったのです。

新聞などによると日本の子供達の夢も年々現実的になっているそうです。一昔前の子供達は「あなたの夢は何ですか」と聞かれたら、目を輝かせて「宇宙飛行士になりたい。」とか「総理大臣!」「プロ野球選手になりたい。」という子供達が多かったのですが今は「公務員になりたい。倒産がないから。」などと答

えるのだそうです。現在の日本の社会が子供や若者から夢を奪ってしまっているのでしょうか。

私が勤めている日本語学校で勉強している留学生たちも日本に「夢」を抱いて来日します。しかし、そのうちにその夢を見失い、勉強することすらなくなる学生もいます。国にいるところに描いていた日本のイメージとは違う日本に失望するのでしょうか。それとも壁にぶつかって諦めざるを得なくなってしまうのでしょうか。それは残念なことです。

若者にとって“夢”はとても大切なものです。遠い将来に夢を設定し、その夢をいつも頭にイメージしながらその夢に向かって努力をするというのが夢に近づく方法です。ですからその夢はできるだけ大きく、簡単には実現できそうもないものであった方ががんばり甲斐がありますよね。米山奨学生の皆さん、学友会の皆さん、是非大きな夢を今一度心に描いて、その夢に向かってがんばってください。ちなみに私の夢は大きな宝くじを当てて、留学生の皆さんの集う留学生会館を建てることです。これはとてもまじめな夢ですが、自分の努力ではどうすることもできない夢ですね。



私は、小学生の頃も「私の夢」について、先生に作文を書かされました。その時、クラスメートたちは「大きくなったら、大統領になりたい」とか、「大きくなったら、科学者になりたい」とか、「大きくなったら、宇宙飛行士になりたい」とか、偉い人になる夢をすらすらと書いていたのに対して、私なんと夢が一つだけではないから、一つに絞るのにすごく時間がかかった覚えがあります。

最初は、漫画を読むのも描くのも好きなので、漫画家になる！と書きたかったのですが、学校では漫画を「不良書物」と見られて、持って行ったら没収された時代だったから、これを書いてはいけないと思って、却下しました。そして、小説を読むのも好きだったので、本をたくさん読める本屋さんになりたかったのですが、近所の本屋さんのおじさんの顔を思い出すと、う～ん…あまり偉い人には見えなしなあ～、とあって、また却下しました。そして、デザインも好きだから、デザイナーにしようかなと思いましたが、その時、担当の先生は知識豊富でやさしくて、憧れのような存在で、先生と同じく「先生になる」と書いたら、先生が喜ぶかもしれないと思って、結局「先生になりたい」という極無難な夢、極普通の作文になったのでした。

それから、自分の夢に関してあまり深刻に考えずに、受験勉強ばかりしていた少女時代を過ごしました。しかし、幼稚園の時、父が買ってくれた一冊の漫画をきっかけに、日本の文化についての興味に目覚めた私は、大学時代日本語学科に入学し、本格的な日本語を勉強しはじめました。そして、日本へ留学することが夢になりました。そして、大学卒業に控え、進路について悩んでくらす時期がやってきました。今度は子供の時に書いた作文とは違って、自分の生涯に関することだから、真剣に考えなければならぬと思いました。日本に留学して、台湾へ戻ったら、日本文化に関する講座を開きたいと思います。

帰国後に教育関係の仕事に携わることは、日本文化の研究者、学習者を育成することを通じて、両国の人々が互いに理解し合うことができ、日本と台湾の友好関係を促進することもできて、とてもやりがいのある仕事だと思います。日本留学の目標を立てましたが、二人の弟はまた大学に入ったばかり、両親の負担を減らすため、まず就職して、社会経験と留学費用を積んでから留学することにしました。

大学を卒業してから九年間も経った2004年、やっと日本留学の念願が現実になりました。研究生から、修士卒業するまでの三年間、すごく充実した毎日を送っていました。自分の研究以外、異文化に興味のある私は、大学の国際会館に通いました。そこで、世界各国の友人と交流しながら、お茶の稽古、いろいろな勉強をしました。お茶の稽古をすることで、日本の文化に親しむことができ、すごく良い経験をしました。また、植民地時代の台湾の移住空間について研究しているうちに、今の日本の住宅デザインにも興味を湧いてきましたので、専門学校のインテリアデザインコースにも通いました。そのおかげで、古い歴史の研究だけではなく、実用的な知識も身につけました。

修士を卒業した後、まだまだ学びたいことがたくさんありますので、博士号も頑張って取ろうと思えますが、前の貯金では、博士が卒業するまでにつづけられるかどうかは心配です。幸いに、ロータリー米山奨学金に合格して、将来の夢を目指し、余計な心配なく勉強に専念することができて、とても幸せだと思います。米山ロータリークラブの様々なイベントと毎月参加する例会に通いながら、ロータリアンたちが米山梅吉さんの「社会への貢献」の精神と「他人への思いやりと助け合い」の奉仕精神を継いでいる実感をしてきました。特に地区大会に参加する時の感動は忘れられないです。今まで人からもらった恩返しとして、私も卒業した後、社会に貢献で

きる仕事に尽くしたいです。

振り返って見ると、小学校の作文の時間で悩んでいたことは今なら答えが分かるようになりました。あれもこれもやりたいといった欲張りな私も、いろいろな経験をつぶんできました。人より遅くて、目標

に辿り着くまではあと一歩ですが、人生は一度しかないですので、いっぱい夢を持って、その夢を実現するために努力するのも素敵じゃないですか。私にこのように幸せに夢を見させる人たちに感謝しなければならぬと思っています。

私の夢

大阪大学国際学部 言語文化学専攻 修士課程

宋 莉莉

(元世話クラブ:大阪天満橋RC)



去年2月頃に米山奨学生の合格書が届いた瞬間は今でもはっきり覚えています。奨学金の以外にまた例会に参加し皆様と交流できる機会も与えて頂くことは私にとっては意外でもあり、魅力でもあります。去年4月から月に一回例会に出席させていただき、ロータリークラブの組織、理念などの理解が深まりました。皆様の奉仕活動が目の前に現われ、皆様の熱心さを実感しました。私の母国中国で昔から「滴水之恩、当涌泉相報」という諺があります。日本語に訳すれば、一滴の水の恩は、涌く泉にして報いるという意味になります。私のような留学は皆様に大きな支援を頂き、常に感謝心を持ち行動するべきだと思います。

去年の四月から、私は留学生就職支援団体とい

う日本初の留学生発の学生団体に入りました。日本では少子高齢化社会による、企業は人材不足と国際競争力不足の問題と直面しています。一方、留学生は日本就職に対する理解不足、日本企業に対する理解不足、就職意識不足、就職情報不足で悩んでいる人が多いです。この六つの不足を解消するために、私たちはいろいろ組織と提携・協力し、様々な形で留学生の就職をサポートしていきたいです。現在六人だけのチームだけど、これからも頑張ります。私たちの夢は「人材による国際コミュニケーションの実現」です。微力ですが留学生と日本社会のかけ橋として全力を尽くしていきたいです。

私の夢

大阪大学工学研究科 システム創成専攻 修士課程

関 天放

(世話クラブ:箕面RC)



私は「自立」、「人間的成長」、「異国文化の理解」を目的とし、世界最先端のハイテク技術を学ぶために日本へ留学にやってきました。私は日本留学の一番の魅力が、高い教育水準、優れた研究環境と豊かな日本文化だと思います。小さい時から、日本のアニメと漫画が好きだった私は、日本の

文化の色々なことに関心を持つことになりました。中学の頃には、親からもらったSONYのWALKMANのきっかけで、私は日本のハイテク技術—電気電子系の素晴らしさを感じ、日本に留学しようと思いました。中学に卒業した後、日本に留学の志望を持ち、英語だけではなく、日本語も教えてくれ

る高校に入りました。留学の目標を決め、高校3年間努力し、やっと2003年10月に日本に来ました。

4年間の大学の留学勉学生生活を振り返って見ると、その時々自分の姿が浮かんできます。苦しんでいた私、彷徨していた私、泣いていた私、喜んでいた私…その中から成長していく自分が見えてきて嬉しいです。この成長には自分自身の努力だけではなく、周りの沢山の助けてくださった人々は欠かせません。その感謝の気持ちはいっぱいです。日本人が見返りを求めずに喜んで人助けする精神は、日本に留学してきた一番感じたことです。

そして、私は、将来に、周りに信頼される人間、頼りにされる人間になりたい、一人の社会人として、会社にとって役立つ人間になりたいと思っています。中国は今経済的に技術的に発展中、色々なものを造れない、生産技術の停滞の状態です。もちろん一時的解決できることではないが、この長い成長過程には、自分の力を出したいと思いません。修士を卒業した後は日本で就職すると考え、大学で身につけた専門知識や養ったコミュニケーション能力を生かし、中日両国の間の交流に少しでも貢献できればと思います。

私の夢

関西大学経済学部 経済学専攻 修士課程

ROSHAN GURUNG

(世話クラブ:箕面中央RC)



たくさんの留学生のようにたくさんの夢を持って私は2004年に、日本に留学した。日本は経済的大国であり、アジアの一国であるので私が留学するため、日本を選択した要因である。

20世紀に入り、世界の色々な国々が経済発展を遂げ、21世紀を迎えたのにネパールは発展という現象からはるかに遅れている。国民8割以上が農業に従事し貧しい生活をしている。そんなネパールで生まれた私が、大学生の頃、先進国の経済発展のことを学んだとき、ネパールを経済的に発展させるなら、先進国の経済発展のことを学ぶことが必要だということに気づいた。先進国の経済発展のことを学ぶならば、実際に芯から経済発展のことに感じる必要があるということにも気づき、日本に留学することを決意した。

日本来て初めて、想像も付かないくらいの発展を目で見て心から感じたとき色々なことを浮かんできた。その時、本当に感じたことは、ネパールは世界の一国ではないか、ネパール人は日本人と同じ人間ではないということだった。日本語学校を卒業し、大学院で、ずっと前から決意した、日本経済を勉強することにした。大学で、日本経済

を勉強する前までに、国を経済的に発展させるため工業力が第一だと思い、工業力さえあれば国の経済を遂げるとおもっていた。だが、その工業力はどういう風に得ることができるのかわからなかった。大学に日本経済の授業を受けている間に教育は経済発展や社会の構造や国を作るための源だということに気がついた。

教養のない人間は人間ではなく動物だといわれる。教育は人間を育てる。読み書きは人間の基本権利だとも言われる。だが、その読み書きの権利つまりネパールで、義務教育はない。読み書きのできない人々はどのように国家の経済発展のことを想像できるだろう。日本来て本当に気がついたことが教育は何よりも大事だということである。だから、日本の大学を卒業し、教育関係の仕事に就きネパールだけではなくアジアやアフリカの読み書きさえできない子供たちのために働きたい。今まで学んできたことを貧しい子どもたちと共有したい。

大阪大学経済学部 経営学系専攻 修士課程

胡 佳筠

(世話クラブ:茨木RC)



2006年の春、日本の大学院の研究生の入学資格をとることをきっかけに、日本に留学することが決まりました。4月1日に関西空港に到着し、台湾と似ている空気、似ている人の顔を感じられますが、この日を限りに、24年間一緒に暮らした家族を離れ、一人で海外で生活することになりました。最初に、大学の寮、つまり完全に新しい環境に入ります。入居したの始め、テレビ、インターネットも持たない、外部と家族の情報を掴むことができませんでした。そのときから、他人に頼ることなく、ほんとに一人しかいないという寂しさを強く感じました。昔ながら、周りの友たちに気が強くて独立な人と思われる私が、いくつの夜に涙と共に寝てしまいました。このときは、一番ほしいものはお金ではなく、代わりに話せる友達でした。時間と共に、留学生の友たちができ、彼らに日本についていろいろ教えられました。たとえば、日本人との話し方、勉強の進み方など駆け出しの私には実用のことです。毎日寮の図書室で勉強しながら生活について話し合い、一人暮らしの寂しさをだんだん紛らされました。まさにグローバルの生活を、寮で住むことで実現しました。現在、帰国して今後会いにくい友達が多いですけど、そのときから築いた友情は一生続けると思います。

台北のような都会で住む私にとって、一番なれないことは、買い物 の不便でした。日本の住宅エリアとビジネスエリアがはっきり分けられ、夜に入ると住宅街が静かになり、店も少ない、8時ぐらい閉まります。台北で育てられてきた私には、どうしてもなれませんでした。なぜかというと、台北における生活は、外食の割合が高い、夜遅くでも家から出て直ちに夜市や23時まで開いてる量販店を容易に見つけれられます。うちの母と電話するとき、いつも夜遅くて外に出ないでくださいと言われたと、頭の中に、この辺に遊びに行ける所は

全然ないよ、という言葉が浮かび上がりました。しがし、来日三年目に入り、日本の夜静かな住宅街にだんだん気に入り、台北の喧しい夜の街にはかえってなれなくなりました。

日本に来て二年目、神戸を離れて大阪の大学院生として進学ことになり、日本人と一緒に授業に参加し、グループに分けて発表することが増えてきました。日本に来る前に日本語を勉強し、一級の試験も通ったとはいえ、実際に使うと初心者のように伝えたい言葉をなかなか思い出せませんでした。日本語の学習時代にバイブルとして読んできた教科書も全然利かない気がします。大学院でなるべく自分の専攻に近い授業を取りますが、やはり言葉の制限で講義の内容を十分に理解することができません。事前に予習しないと授業内容がわからなくて授業中に頭がぼうとすることもよくあります。言葉は一つの問題で、多国籍のクラスメートと論議するとき、いかに異なる文化を持っている人に自分の主張を納得させることも一つ問題です。自分の国で学習することより二重難しいを感じますが、二年だけの勉強でグローバル視点を持ってビジネスと日本語二つ学問を習得できることは、留学ならではの優位性だと思います。

マスター一年の夏休みに、学校と異なる生活を試したために、日本企業のインターンシップに参加しました。日本の大手メーカーの海外マーケティング部門に入り、スタッフとして身に着けなければならない考え方を学習しました。社員さんが日々に処理する業務を携わることはありませんが、講義を受け、半導体産業のトレンドと実際の取引を概略的に認識するができました。この三週間において留学生の私として最も怖がることは、交付された発表内容をうまく進むために、関連部門の担当者の意見を尋ねることでした。一対一のインタビューを行う際に、相手の考えを理解する

だけではなく、相手の答えからさらに質問を出します。日本人にとって、ただ30分ぐらいのインタビューだと思いますが、日本語が上手ではない私にとって、まるで3時間のような戦いを感じました。辛くてしんどいと思いますが、このようなプレッシャーを克服することは、まさに自分を鍛え、自分を成長させるために欠かせない要素です。

大学院から卒業したら、母国に帰りITメーカーで勤める予定です。留学の経験のおかげで、ビジネ

スの世界で競う人は自分の国の人のみではなく、同じ領域で努力する人は世界各地にいる視点が常に頭に入ってます。また、大学院で勉強した専門知識を忘れることがあるかもしれませんが、培ってきたグローバルの考え方、ロータリークラブと先輩たちからの支援で留学生生活を円滑に進めるのを忘れることはなく、感謝の気持ちで日本と台湾の架け橋になれるように頑張りたいと思います。

蓮の花のように

大阪大学工学研究科 物質創成専攻 修士課程

NGUYEN KHANH QUOC

(世話クラブ:大阪大手前RC)



ベトナムのイメージというと何でしょうか？アオザイ、フォー、ベトナム戦争、バイク…。これらが代表的なイメージなのではないかと思います。アオザイ（ベトナムの民族衣服）を着ている女性はベトナム人から見てもうつくしいですし、フォー（ベトナム風うどん）はヘルシーで毎日でも食べたくなります。ベトナム戦争のことはひと言では書けませんが、国のために戦いぬいてくれた両親や祖父・祖母などを誇りに思います。バイクは、ベトナム人の生活にはよく使われている乗り物で、排気ガスの中を、マスクやメガネをして走っている風景も確かにベトナムのイメージです。でも僕は正直、排気ガスの溢れる道とバイクのイメージだけは、なくなってほしいなと思っています。

現在、ハノイとホーチミンでは、洪水のようにバイクが走っています。毎朝毎夕、渋滞が起こりますし、非常に多くの排気ガスが排出されています。排気ガスだけではなく、環境を破壊する原因は他にもあります。ベトナムでは、ゴミを分別する習慣・規制はまだなくて、リサイクル技術やノーハウも持っていません。ゴミはそのまま埋め立てか焼却という方法で処理されています。また「国を工業化する」という国の政策のため、近年、工場がますます増えています。しかしそれらの工場

には、産業廃棄物の処理システムがほとんどありません。産業排水や生活排水はそのまま河に流されます。更に2009年からは、産業の基盤となる石油精製の振興をはかる方向です。ということは、産業廃棄物が激増するということでもあります。来年には間に合いませんが、少しでもはやく環境規制・対策を立てると同時に廃棄物処理システム・技術・ノーハウを導入しなければなりません。

世界でもトップクラスの技術を持っている日本に留学している僕は、ベトナムの環境に対する責任を感じています。リサイクルや廃棄物処理技術などを身につけて母国に持ち帰り、国の発展に関与しながら、環境を守る事業をやっていきたいと考えています。

話は個人的なことになりますが、実は僕は2年前から、ひとりの友人と組んで起業を考え始めました。当時、彼が東工大の経営システム専攻、僕が阪大の化学工学専攻でした。化学品を生産する工場を立ち上げ、ベトナムの化学産業に参入しようと決めました。理由は単純でした。化学産業が他の工業産業の基盤だと言われているが、ベトナムの化学産業は白紙のような状態だと気づいたからです。

その時の僕は「何でもつくろう」と考えていました。国が発展するために、ベトナム人が豊かな

生活を送れるために「何でもつくろう」と。しかし、この2年間、本を調べたり、人の話を聞いてたりして「何でも」では駄目なのだと気づきました。お金・モノの豊かさを求めてばかりでは、暮らしや環境の豊かさを失い兼ねません。「環境にいいもの」をつくらないと本当の意味で豊かにはなれないのだと気づいたのです。

ベトナムは、まだそこまで気づいていません。知識では知っていても、どうにもならない状態です。そして、ベトナムの「急成長」とともに、環境汚染が深刻になってきます。「もう手遅れ」と言えるような現象もでてきているでしょう。このような背景があり、私たちは環境化学製品をつくらんと決意しました。

コンセプトは「自然の豊かさを守り、人の豊かさをつくる」と「ベトナムの環境化学産業を担う会社のリーダーシップをとる」です。事業の基本モデルとしては「ベトナム原材料+ベトナム人材+日本・ベトナムの専門家+ベトナム・日本投資家+日本の技術・ノーハウ」。また戦略としては「ニーズに応じた高付加価値製品を特殊の技術でつくる」です。

起業する際には、ベトナムの社長（化学産業の実業家）がかなりの投資金を出してくれることと、原材料調達・市場参入の支援などをしてくれることが決まっています。しかしながら、起業するために一つの大きな課題が残っています。技術・ノ

ーハウを導入することです。現在は水処理剤の生産技術や水処理技術を探検していますが、来年の春には、ベトナムに帰って、市場を調査し、マーケットのニーズをもう一度把握しようと思っています。それから製品を決め、日本のメーカーの技術・ノーハウにアプローチする計画を立てています。こんなことを書いているうちにでも、ベトナムの環境は汚れていくので、一日もはやく起業するというのが、今の僕達の気持ちです。

最初の話に戻りますが、蓮の花というのもベトナムの代表的なイメージだと思います。国花ですし、ベトナム航空のシンボルとしても使われています。また、文学や映画の中でもよく出てきており、人々の生活と密接につながっています。茎から花まで、鑑賞用、薬用として使われ、食用としても、ハス茶、ハスご飯、ハスチャー、ハス茎サラダに用いられています。蓮の花は、艶やかなのに清潔で、いい香りをもっています。ベトナム人からも、おそらく外国の人からも愛されている花です。

この花のように、ベトナムの経済がきれいに伸びることを願っています。そしてベトナム人がより良い環境の中で、豊かな生活や時間を送れるようになるといいなと思います。日本からも世界からも愛される国になってほしいです。蓮の花が枯れることがないように、努力していきたいと思っています。

私の留学と生活

大阪大学 工学研究科 地球総合工学専攻博士課程

朴 柱信

(世話クラブ:大阪堂島RC)



私は韓国から来ました朴と申します。3年前に日本に留学をきたし、現在、大阪大学校船舶工学科で博士過程に在学中です。私の歳は33歳で、血液型はA型です。私の性格はすこしせっかちですが純粋です。私はせっかちな性格を変えたくて余裕をもって生活しようとしています。なかなかお

りませんが、それでもがんばって変えようとしています。私の将来の夢は自分が働きたい職場で生活しながらしあわせな家庭を築くことです。

私は韓国では大学で造船工学を専攻しました。造船工学を選択した理由は、幼いころから海に実に慣れ親しんだ環境に育ち、時々遠い海を航海する巨大な船舶を見るたびにその勇壮さに感嘆しま

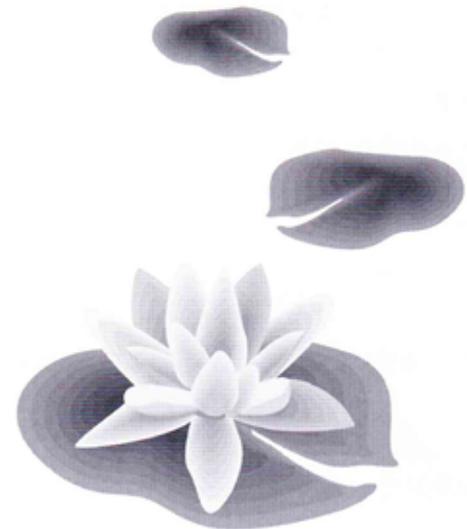
した。大学を卒業するころ韓国の造船産業の規模は思いもよらぬほど成長し、私も何度も就職の機会があったものの、学問に対する情熱のゆえに日本への留学を決心しました。

留学を決心した後、国費留学プログラムに応募し合格しました。世界的に日本の造船産業及び船舶工学関連研究は最高であり、その中でも研究が壮んに進められている大阪大学船舶工学科に志願しました。

2005年10月に入学し、1年間の修士課程を終え、すぐに博士課程に進学しました。現在博士學位論文の審査が進行中であり、今年3月に卒業をすることになります。卒業後には韓国に戻り、研究所にて研究員として新たな人生を歩むこととなります。私は「曲板の座屈及び最終強度評価と崩壊挙動シミュレーション理論開発」をテーマとして研究しています。座屈と言うのは、細長い梁や広い板に圧縮力を加える場合、荷重の大きさがある一定値を超えると、変形が今までと違う形になり、耐荷力が減少する現象を言います。船体構造および海洋構造物では曲率を持った板がたくさん使われています。例えば、船舶の中央部と外板、船頭と船尾の形状などがこれに該当します。特に、超大型コンテナ船は船形が鋭く、中央平衡部が長くなく、船底湾曲部の曲率が一定していない場合が多いです。このような曲板構造は平板構造とは違う座屈崩壊挙動を現わすことと予想されます。航空、宇宙および海洋構造物分野では円筒シェルの座屈崩壊挙動に関し数多くの研究が行われてきたが、円筒を構成しない曲板での座屈崩壊挙動に関する研究は管見の限り見当たらず。現在船級協会等が曲率の影響による座屈強度の評価に対し研究を行っているが、その成果は充分とは言いがたく、設計に反映されるまでには至っていません。私のこの研究では曲率を持った板および補強曲板を主な対象としています。曲板および補強曲板の座屈および最終強度の挙動特性に対し有限要素法を用いて研究を行ってきました。曲率を持った板を主な対象とし、周辺単純支持条件の下で座屈および座屈後の挙動解析のための定式化作業を遂行してきました。また、有限要素法による弾性大変形解析を行い、定式化の妥当性を確認しました。現

在、曲板の座屈崩壊挙動を再現した簡易力学モデルの開発を進めており、開発後、船体構造のみならず陸上構造物に至るまで、曲率を持った構造部材の座屈挙動をより合理的に予測することができる核心理論を定立することができ、今後幅広く使われると判断されます。

約3年間の日本での生活は、私の人生において非常に貴重な思い出です。このように長期間海外で生活することも初めてであり、留学も初めてだったからです。しかし、多くの点で同一な部分があるアジア文化圏であるため、適応するに当たってはとても楽でした。勿論ごく初めころは言葉の問題においてさまざまなエピソードがたくさんありました。しかし何かと便利な制度も多く、研究システムも良く備えられており、留学生の立場として生活するにはとてもよかったですと思います。結婚してからは、生活の面においてより一層楽だという感じを多く受けました。子供たちの健康及び保健、そして出産におけるプログラムなどがとてもよく整えられており、多くの恵みを受けました。



ハングルの優秀性

大阪大学工学研究科 電気電子情報工学専攻 修士課程

咸 鉉周

(世話クラブ:茨木東RC)



2002年に来日し、大阪大学の工学部電子情報工学科を卒業、現在、大阪大学大学院工学研究科量子電子デバイス専攻で修士課程を履修中である。

最近、日本では韓国に対する興味が非常に高く、韓国のドラマや映画、歌、など韓国の文化を楽しむ人はもちろん、韓国の文字であるハングルを習う人も非常に増えています。この度は最近韓流ブームの勢いに乗って、ハングルの優秀性を話したいと思います。

今から約560年前に作られたハングルは非常に科学的であり、規則さえ分かれば誰でも簡単に習得することが出来る文字です。私達が住んでいるこの地球上には約6700個の言語が存在するといえます。その中で現在使っている文字は約30個くらいです。1990年、言語学研究で権威もあるイギリスのオックスフォード大学の言語研究チームがこの30個の文字に順位をつけました。順位をつける基準は合理性、独創性、科学性などでした。そこで、1位を取ったのがハングルでした。このような高い評価で1997年10月にハングルはユネスコの世界記録遺産として指定されました。ノーベル文学賞をもらった小説「大地」の作家、パールバク氏もハングルが世界で一番単純で素晴らしい文字であると褒めたといえます。さらにパールバク氏もハングルの名前ももっていると言います。その名前はパールを意味するジンジュと名字はバクそのままバクジンジュと言わらしいです。それではハングルの優秀性を要約してみました。

① 誕生の記録を持っている唯一の文字

世界のほとんどの文字は長い間、誰が作ったかも知らず、変化をし続けて、現在の形をしています。ハングルは計画的に作られた文字であり、その記録も正確に残っているの

です。

② 製字原理が非常に科学的、体系的な文字である。

ハングルの24字は別々作られたものではなく、基本となる字を先に作って、残りはそこから派生していく二元的な体系でなっています。子音は発音の器官も形をみて作られ、母音は「天」「地」「人」を意味する「・」「-」「|」を組み合わせることで作られているのです。

③ 文字の活用性を極大化できる文字である。

ハングルは音素単位で作られ、独特な組み合わせ方を持っています。それにより他の文字体系よりも表記できる音の数が多いことが特徴です。

④ ハングルの母音は一定な音を持っている。

英語の母音は環境によって発音が違ってくるが、ハングルの場合いつも同じ音で発音されるので、外国人がハングルを習うとき簡単だと感じるのです。

以上のように、ハングルは世界中の文字、どれにも負けない力を持っているのです。こんなに優秀であるハングルが世界の公用語になることが、叶われない「私の夢」ですが、せめてこの機会を通じてもっとハングルに興味を持つ人が増えれば、それで幸いです。みなさん、ハングルに興味がありましたか？



大阪大学工学研究科 マテリアル生産科学専攻 博士課程

Sahar Farjami

(世話クラブ:大阪なにわRC)



はじめまして。大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻博士後期課程2年Sahar Farjamiと申します。イランのテヘランから参りました。2008年4月から大阪なにわロータリークラブのお世話になっております。今大阪大学で金属材料の磁場による組織制御を研究しています。

新材料を設計するにあたって材料の組織を制御することは重要な課題の一つである。材料の組織制御としては異種元素の添加、外場による相変態の制御などが挙げられる。特に、相変態へ及ぼす磁場の影響については、近年、10Tを超える強磁場が比較的簡単に得られるようになったことから研究が活発になってきている。無拡散変態であるマルテンサイト変態に及ぼす磁場の効果は実験、理論ともに多くの研究がなされ、マルテンサイト相に磁気異方性がある場合、磁場の印加によって相の組織が配向することがわかってきた。拡散変態においても対象とする組織に磁気異方性があれば、同様に磁場によって組織が配向する可能性がある。この合金は大きな一軸磁気異方性を持つから将来の磁気記録媒体として期待されている。

このような系として、我々の研究室ではこれまでCoPtについて研究を進めてきた。CoPtは約1100KでA1型 (fcc) 構造の不規則相からL10型の規則相へと相変態し、変態に際して3つのバリエーションが生成する。この規則化処理の際、磁場を印加すると磁場方向に容易軸 (e軸) を持つバリエーションが優先的に生成し、条件によっては単一のバリエーションのみで構成されたシングルバリエーションとなるのがこれまでに見いだされている。特に磁場は規則化の初期段階に有効であることがこれまでに見いだされているが、その機構については未だ明らかではない。

磁場によるバリエーションの配向についてのさらなる理解を得るためには、他の合金系についてもそ

の配向条件を見出す必要があると考えられる。そこで本研究ではFe45Pd55の合金を用いて、その規則相バリエーションの配向に及ぼす磁場の影響を調べることを目的とした。

Fe45Pd55の不規則 - 規則変態に及ぼす磁場の影響について単結晶試料を用いて調査し、以下の結果を得た。

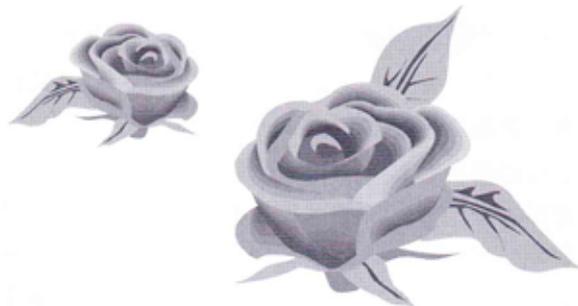
1. L10型規則相は約670Kに、A1型不規則相は約740Kにそれぞれ磁気変態点を持つ。また、低温側から1K/minで加熱していくと約1025Kで規則 - 不規則変態が起こり、高温側から1K/minで冷却すると約955Kで不規則 - 規則変態が起こる。
2. 不規則状態から焼入れされた試料に次の2段階の規則化熱処理を施すことによりシングルバリエーション状態が得られる：

第1段階 4T以上の磁場を[001]方向に印加し673Kで1h保持

第2段階 零磁場下、773Kで24h保持

なお、第1段階の磁場が4T以下の場合には磁場印加方向に容易軸を持つバリエーションの割合が磁場強度の増加に伴い単調に増加する。

これからの研究計画はL10型規則相の配向に及ぼす磁場の影響についての機構を明確にするため、電子顕微鏡で一段階 (核生成) のバリエーションの割合について研究したいと思っております。



ネットワークの充実を目指して

前会長 林 小微

(元世話クラブ:和歌山東RC)



私は2004年～2008年の4年間、学友会の幹事長、会長代理、会長を務めさせていただきました。その間、米山記念奨学会をはじめ、地区ガバナー、地区米山委員会および学友の皆さんに支えられ、なんとか無事に任期を全うすることができました。ここに改めて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、今会報の発刊に際しまして、私が学友会幹部を務めていた間に、感じたこと、考えたことを少しばかり書かせていただきます。

この4年間に、卓話やフォーラム、記念式典といったロータリークラブの行事に出席する機会が多くありました。そういった際に、「奨学金終了後、奨学生から連絡が来なくなった」というようなお話をよく聞きました。確かにそのような事例は良く見受けられます。翻って、奨学生の側からよく聞くのが、ロータリアンは非常に多忙で、終了後も連絡をしてお時間を煩わせていいものか迷う、というようなことです。

昨年、あるクラブの記念事業のために、帰国した学友の消息を調べてほしいとの依頼を受け、台湾や韓国などの学友会に連絡して、OB達とメールでのやり取りをしました。その際、OBの方からは一様に「こういった連絡受けたのは初めてで、大変嬉しい」ということでした。元奨学生からすると、カウンセラーや事務局から「元気にしていますか？」と尋ねられれば嬉しいのです。

奨学生は奨学金を頂くことで生活に余裕ができ、勉学に集中することができます。そのことには感謝の念を持っています。そこで、奨学生募集の際に他の奨学金との違い、すなわち終了後や帰国後は日本とかけ橋の役割をもち、世界平和に貢献しなければならない。そのためにはカウンセラーや事務局に少なくとも年に1度、定期的に連絡をす

ること、学友会活動に積極的に参加してほしいこと等々をしっかりと理解させることが重要ではないかと思います。また、そこから一步踏み込み、それらを義務として課すことも検討する必要があるかもしれません。

一方、学友会として、一般のロータリアンへの学友会のPRがあまりできなかったと、反省しております。事務局や学友の努力で、ここ数年で海外の学友会の組織も出来上がり、学友会同士の連絡なども活発になってきました。このネットワークをもっと整備して学友同士だけではなくロータリアンの方にも活用してもらえるような仕組みができないでしょうか。

中国や台湾、韓国、あるいは他の国々とかかわりを持つロータリアンは大勢いらっしゃると思います。また、海外のクラブとのお付き合いを広げたいと考えているクラブもたくさんあるかと思えます。そんなときに当地の学友会を通じて、OBに活躍の場を与えていただければ、恩返しのチャンスとなり、大きな喜びになるかと思えます。またそういったことを通じてロータリアンに奨学会の意義を理解していただければ、財団への寄付につながり、奨学会の発展に寄与するのでは、と思えます。

今後も学友会およびロータリークラブの発展のために少しでもお役に立てるよう、努力していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

なお、学友会の活動予定はウェブサイトにて随時アップしておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

学友会ウェブサイト <http://ri2660k.memopad.org/>

—2008年度秋期懇親会—

大阪外国語大学 大学院博士後期課程言語社会専攻

陳 梅隱

(元世話クラブ:箕面中央RC)



2008年11月22日、23日の二日間、2008年度関西地区ロータリー米山奨学生学友会の秋懇親会が行われました。今回の懇親会に参加されたのは、大阪東淀RCの磯田郁子先生とご家族、顧問の林 錫璋先生を始め、学友会の役員、OB、現役奨学生とご家族、ご友人を含め30名でした。

初日の朝、私たちはバスに乗って鳥取砂丘に向かいました。11月の末でありましたが、よく晴れていて過ごしやすかったです。バスの中に、磯田先生のお子さんのショウちゃん、カホちゃんが「ポニョの歌」を歌ってくれたり、皆さんと一緒に車内ゲームをしたりして、砂丘までの四時間があっという間に過ぎました。

中国山地から流れ出た千代川が運ぶ砂と日本海の沿岸流が運んだ砂が風と波の力によって集まり、少しずつ時間をかけて堆積してできた鳥取砂丘は南北2.4km、東西16kmで、最大高低差は90mがあり、日本最大の規模を誇ります。その成り立ちの歴史は、今から十万年前に遡るといわれています。目の前に広がる砂の海。一番高い砂丘を登った後広がる日本海。その雄大な砂丘と波瀾の冬の日本海との圧倒的なスケールは私たちに迫ってきました。

その晩、私たちは昔から海上交通・貿易の拠点とされている風景が綺麗な美保関で泊まりました。港ならおいしい魚料理を楽しみながら、おしゃべりをしたり、カラオケを楽しんだりして、この懇親会まで知らなかった皆さんがすっかりと交流を深めました。

翌日の朝、国の重要文化財に指定されている美保神社を散歩した後この懇親旅行の最後の目的地である島根県にある石見銀山に向かいました。石見銀山は2007年に世界遺産に登録されたことが記憶に新しいですが、石見銀山遺跡だけでなく、個性的な雑貨屋さんや昔の文化が馴染まれている古い町もあり、予想以上に楽しかったです。

今回の懇親旅行は天気にも恵まれ、大自然に恵まれている日本の歴史と文化に触れることができました。そして、いろいろな国の皆さんが互いに交流ができ、さらに磯田先生のお子さんと米山学友会会長の朴さんのお子さんの参加によっていっそう楽しくなり、参加した皆様にとってはとてもよい思い出になったでしょう。

皆様、お疲れ様でした！

2008年度懇親会旅行レポート

大阪大学 大学院基礎工学研究科 修士課程2回

牛 童

(元世話クラブ:大阪本町RC)



日 時：2008年11月22日（土）、23日（日）
見学先：鳥取砂丘、境港市、世界遺産石見銀山

こんにちは。08年度米山奨学生の牛童（ニュー

トン）と申します。地区米山委員会・関西学友会が主催した「秋の懇親会」に参加させていただきました。一泊二日の観光も非常に満喫したし、現役奨学生やOB,OGとその家族との交流もとても楽しかったのです。ここで簡単に懇親会の流れと自

分の感想を述べたいと思います。

【参加申し込み】

関西学友会から懇親会お知らせのメールをいただきました。行くかどうかは少し迷ったが、日本海側の方に行ってみたいし、奨学生のみennaと話してみたいと思ったので、申し込みました。

【旅行初日】

集合はなんと朝8時に梅田！がんばって早起きをしました。貸し切りのバスに乗って、スケジュールをチェックすると、正直少しテンションが下がりました。なぜなら、今回の旅行は本当の「バスツアー」と言えます。予定していた観光地での見学時間は4時間くらいしかなくて、これに対して、バスに乗る時間は17時間もあります。バスの中で何をしようって思っていました。大阪から出発してしばらくたつと、参加者の自己紹介が始まりました。現役奨学生の中で、中国・台湾からきた留学生は大半ですが、ミャンマーやマレーシアの方もきてくれました。それから、OB・OG方もたくさんいらっしゃいました。中では、私が生まれた前に日本に留学した方もいらっしゃって、びっくりしました。バスの中では、中国語と日本語が飛び交って、にぎやかでした。

周りの方といろいろお話をしているうちに、第1の目的地、鳥取砂丘に到着。鳥取砂丘はずっと前から行きたかったもので、楽しみにしていました。まず、みんなで昼食をとり(おいしい海鮮料理)、次に砂丘に行きました。生まれてはじめてみた砂丘に感動して、砂丘に向かって走りました。天気は非常によく、黄色い砂と青空の組み合わせは素晴らしかったです。砂丘にのぼったら、さらに美しい景色が目に入りました。果てなく続く広い海が見えて、自然の美しさに再び感動しました。もうちょっとこの景色を見たかったが、バスに戻らないといけなかった・・・

次の目的地は境港市という「ゲゲゲの鬼太郎」のまちでした。鬼太郎の映画を見たことがあるので、ワクワクしました。道沿いには100体以上の妖怪ブロンズ像と妖怪グッズ、グルメのお店が並んで、まるで漫画の世界に入ったみたい。

境港市見学のあと、旅館に行って、しばらく休

憩を取りました。私は8人部屋に泊まることになりました。同じ部屋の方はみんな中国語話すので、親近感があって、すぐ仲良くなりました。同じ中国人でも、故郷や経歴が違うので、みんなのマイストーリーを聞いて、非常に楽しかったです。お茶休憩のあと、みんなで晩御飯を食べに行きました。夕食も海鮮料理、ヘルシーでおいしくて満足しました。

【旅行二日目】

朝また早起きして、8時ぐらいに泊まった旅館を離れ、世界遺産の石見銀山に向かいました。バスから降りて、1時間ほど山の中で歩きました。石見銀山は思ったより大きい山で、樹木はとても高い。都市部からだいぶ離れているので、空気は非常に新鮮で、気持ちよかったです。石見銀山の歴史を紹介する博物館を見学したあと、みんなで集合写真を撮りました。お昼の後にまたバスに乗って、8時間ぐらいかけて大阪に戻りました。帰りのバスは長かったが、学友会の先輩方がクイズやゲームやDVDなどを用意してくださったおかげで、時間のたつのが早く感じました。また、先輩方からプレゼントもいただき、うれしかったです。帰りにみんなと連絡先を交換し、このつながりを大切にしようと思いました。

【振りかえてみて・・・】

今回の懇親会は非常に充実しました。2日間いろんな観光地を見回って、改めて日本の美しさと文化を肌で感じることができました。日本海側の町並みは東京や大阪などの大都市と全然違って、とてもどかで、時間がゆっくり流れていき、とてもリラックスできました。今回の懇親会に参加して色んな体験ができて本当に良かったと思います。またみんなに会いたいと思います。

【最後に、感謝の言葉】

今回の懇親会は、関西学友会の先輩方が工夫してスケジュールを立てたおかげで楽しむことができました。ここで感謝の言葉を申し上げます。日々の仕事や学業が忙しい中、旅行のために、いろいろ用意してくださって、本当に感心しました。どうもありがとうございました。

社会奉仕活動のご紹介及びボランティアの呼びかけ

電話による相談ですので、学友の皆様が電話相談ボランティアとしてお手伝いができるので、ここでご紹介をいたします。

詳しいことは下記のホームページをご覧ください。

<http://www.geocities.jp/kansaiseimeisen/index.ht>

◆関西生命線の活動状況◆

1. 設立

1990年11月10日に開設した。

日本でははじめて母国語(台湾・北京語)によるいのちの電話を開設、主に電話相談を中心に活動しています。電話のニーズに応じて色々なイベントも計画実施しています。

「関西生命線」の名称は、中国語の表現であり、英語で「ライフライン」、日本語で「いのちの電話」と表現されています。「生命線」という名称を使えば、台湾から来られた方々に、よりわかりやすく親近感があると考え命名しました。

相談電話：06-6441-9595

2. 目的

宗教、国家体制やイデオロギーを超えてヒューマニズム精神に立脚した活動として、日本で生活する台湾や中国残留孤児とその家族の方々へ精神的支援をする事を目的としています。慣れない異文化の中でのストレス等でなかなか日本の文化に溶け込めず、自殺したり、犯罪に関与したりすることが起こっています。そのようなことが起こらないよう、母国語での電話を通じて、心が休まり、ホッとすることによって、少しでもぶつかった壁に適應する手助けとなれば幸いです。

3. 相談者

国際結婚、留学生、ワーキングビザ、日本人、中国残留孤児二世・三世、華僑など。

4. 活動内容

言語、習慣、価値観、食文化など多岐に渡っています。

設立当初は、留学生のビザに関する相談が多くあ

りました。

最近では、虐待等の親子関係に関するもの、ドメスティック・バイオレンスに関するもの、公園デビューなど近所付き合いに関するもの等が多くなっています。

5. 定期的イベント

- ・旧暦大晦日、水餃子、火鍋大会(2月)
- ・夏休み中国帰国児童、生徒交流の集い
- ・お月見大会(9月)
- ・外国人の子育てをサポートするためのサークル(月に一回 弁天町会場 第4水曜日の夜)

6. 不定期的イベント

- ・外国人向けのお弁当講習会
 - ・外国人が日本の学校に適應するための講習会
 - ・シンポジウムの開催および出版物
- 「外国人のためのお弁当」三ヶ国語(日・漢・英)1996年9月発行
「外国人を援助するためのハンドブック」2003年12月発行



2008～2009年度 米山奨学生学友会(関西)役員リスト

役 職	名 前	元世話クラブ	E-M a i l
会 長	朴 日	大阪東淀	piaoro@hotmail.com
幹 事 長	潘 振興	奈良大宮	victor@toys-jp.net
幹事長代行	陳 梅隱	箕面中央	chen_my53@hotmail.com
副 会 長	塔 娜	岡 山	tana5@vet.osakafu-u.ac.jp
”	潘 振興	奈良大宮	victor@toys-jp.net
相 談 役	重光世洋	大 阪	
”	陳 麗華	奈 良	chinleika1983@yahoo.co.jp
”	林 小微	和歌山東	utcjpnol@yahoo.co.jp
顧 問	林 錫璋	名古屋西	shakusho@yahoo.co.jp
会計監査	莊園福松	神 戸	
学 術	李 倩	大阪中央	anneleeqian@hotmail.com
会 計	李 麗愈	奈 良	anpeigai@yahoo.co.jp
”	陳 伊	高水北	mi_mi_yi@yahoo.co.jp
書 記	馬 桂霞	大阪船場	ma0810@hotmail.com
”	劉 偉	豊 中	kakikukeko7876@hotmail.com
会 報	王 石明	大阪西北	
”	孟 燕	大阪南西	mengyan3jp@yahoo.co.jp
”	潘 振興	奈良大宮	victor@toys-jp.net
庶 務	玄 聖姫	大阪うつほ	seihime29@hotmail.com
国際交流	楮 斌兵	横浜田園	chu.binbing@daikin.co.jp
”	殷 娟	大 阪 西	isable77@yahoo.co.jp
”	張 朔源	豊中千里	zhangshuoyuan@hotmail.com
”	山分祥興	札 幌 北	nelsonyamawake@siren.ocn.ne.jp
親 睦	王 宏	清 水 北	wanghong168jp@yahoo.co.jp
新年度分HP管理	林 小微	和歌山東	yoneyama2660@gmail.com

学友会(関西)ホームページURL <http://ri2660k.memopad.org>

在住外国人のLiving Information URL <http://popeye.ih-osaka.or.jp/enjoy/jp/index.html>

ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2007年度会計収支決算報告書

自2007年7月 1日
至2008年6月30日

●収入の部

科目	金額	備考
前年度繰越金	¥ 1,964,219	
会報補助金	¥ 79,774	米山記念奨学会
会費収入	¥ 50,000	
總會収入	¥ 195,000	
總會補助金	¥ 45,000	米山記念奨学会
秋懇親会収入	¥ 330,700	
秋懇親会補助金	¥ 42,000	米山記念奨学会
広告費収入	¥ 40,000	荘園・豊田 高樹・藤岡
利息収入	¥ 2,705	
寄付金収入	¥ 10,000	磯田・岡田
総計	¥ 2,759,398	

●支出の部

科目	金額	備考
運営費	¥ 154,551	
事務用品費	¥ 157,581	DELLパソコン購入
交通費	¥ 26,510	
会報作成費	¥ 159,548	
寄付金支出	¥ 20,000	中国大震災 ミャンマーサイクロン
總會費用	¥ 279,660	
秋懇親会費用	¥ 698,904	
通信費	¥ 46,747	
雑費	¥ 54,000	
次年度への繰越金	¥ 1,161,897	郵貯¥1,124,629 現金(手元有高)¥37,268
総計	¥ 2,759,398	

会計監査の結果、会計収支決算書は適正と認めます。 2008年7月6日 会計監査 荘園 福松

ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2008年度会計予算(案)

自2008年7月 1日
至2009年6月30日

●収入の部

科目	金額	備考
前年度繰越金	¥ 1,161,897	
会報補助金	¥ 80,000	米山記念奨学会
会費収入	¥ 50,000	
總會収入	¥ 200,000	
總會補助金	¥ 45,000	米山記念奨学会
秋懇親会収入	¥ 100,000	
秋懇親会補助金	¥ 50,000	米山記念奨学会
広告費収入	¥ 40,000	
利息収入	¥ 2,000	
総計	¥ 1,728,897	

●支出の部

科目	金額	備考
運営費	¥ 100,000	
事務用品費	¥ 20,000	
交通費	¥ 20,000	
会報作成費	¥ 160,000	
總會費用	¥ 300,000	
秋懇親会費用	¥ 250,000	
通信費	¥ 45,000	
寄付金支出	¥ 20,000	
雑費	¥ 50,000	
次年度への繰越金	¥ 763,987	
総計	¥ 1,728,897	

2008年7月6日 会計 李麗愈

～ 特別個人寄付に感謝いたします。～

2008～2009年度会員リスト

2660 00066 重光世洋
 2660 00168 中山勝富
 2740 00170 上条勝富
 2760 00204 林 傑雄
 2680 00236 香島明雄
 2830 00304 菅根憲昭
 2760 00372 郭 顯榮
 2760 00465 郭許瑛等
 2700 00497 徳山卓也
 2650 00577 清河雅孝
 2660 00590 豊田秋雄
 2660 00596 林 宏作
 2560 00651 東 正伯
 2680 00729 藤岡孝亮
 2530 00734 宮崎ちな (華珍)
 2660 00972 魏 昭良
 2680 00975 莊園福松
 2660 01135 南 俊彦
 2640 01139 藤方彰二
 2670 01140 武田維明
 2650 01265 森重映堂
 2660 01266 張 翌東
 2690 01279 鍾 雲海
 2640 01409 大塚賢龍
 2650 01538 李 憲珍
 2650 01704 黄 展昌
 2640 01718 林 小俊
 2650 01868 李 誠金
 2660 01884 松井仁淑
 2700 01906 水戸美希 (モータード・エクテサビ、ミトラ)
 2660 02077 早川由美
 2650 02467 高畑亮一
 2650 02475 權 貞玉
 2650 02739 陳 麗華 (杉本 麗華)
 2650 02741 何 玉翠 (北山 玉翠)
 2660 02786 施 學昌
 2660 02788 梁 宜漢
 2680 02791 姜 兌欣
 2640 03383 ウェルク、テコラ
 2660 03399 王 石明
 2640 03400 ザヤニ、モハメッド・ヘディ
 2680 03468 李 傑一
 2660 03751 譚 焜崇
 2680 03754 シュレスタ、ディネス・ブラサド
 2640 03843 田中 明
 2640 04085 田中融知
 2640 04089 王 惠津
 2680 004110 タバオ、ヘンリー・アグレス
 2660 04707 桂 小聖
 2570 04817 洪 萬杓
 2660 05005 李 文英
 2660 05097 崔 鏡珠
 2680 05177 林 勲
 2660 05497 周 人英
 2660 05610 許 点淑
 2600 05669 傅 傑
 2660 05703 国本徐佳
 2500 05757 鄭 祥興 (山分祥興)
 2650 06060 賴 愛華
 2660 06335 陳 煥輝
 2660 06338 李 焜
 2660 06340 李 虎
 2660 06341 李 玉軍
 2710 06359 梁 蔚 (南 蔚)
 2790 06620 梁 榮友
 2650 06697 蔡 世輝
 2650 06706 ハサブラブ、ハミッド・モハメッド・A.
 2650 06722 潘 振興
 2660 06740 ポストン、ルイ・ヘンリー・クワミ
 2660 06972 江 南
 2650 07358 ジャルハット ウボンチャート
 2680 07407 崔 美淑
 2690 07440 熊 徳富
 2660 07673 陳 於華
 2690 07693 東 林華
 2690 07697 塔 娜
 2620 08168 王 宏
 2660 08255 黄煥典文 (グナワン、エディ・スジョン)
 2660 08254 高 麗英
 2660 08262 金 華榮
 2660 08270 オソコル、オリガ
 2660 08284 劉 洋洋
 2660 08966 金 明暉
 2660 08969 林 志煥
 2660 09163 韓 成一
 2650 09605 孫 智福

2660 09649 崔 雲澤
 2660 09654 金 世延
 2660 09673 權 紅雨
 2780 09766 李 俊輝
 2660 09841 謝 立群
 2590 10110 權 斌兵
 2650 10283 李 弘鶴
 2650 10323 王 劍鋒
 2660 10339 黄 嘉琪
 2660 10340 黄 濟華
 2710 10454 王 蔚
 2520 10662 高 穎
 2660 10982 陳 賢
 2660 10985 ガルカ、イワナ
 2660 10986 郭 新龍
 2660 10990 郭 修群
 2660 10992 李 倩
 2660 10993 林 鳳娟
 2660 10994 柳 偉達
 2660 11000 朴 日
 2660 11004 孫 忠男
 2660 11005 ワグル、サントシュ
 2660 11006 呉 非
 2680 11013 丁 旭
 2680 11019 朴 賢淑
 2660 11184 黄 靖麗
 2660 11186 朴 鍾徳
 2510 11499 游 凱琳
 2750 11524 金 粉花
 2660 11672 白 雨田
 2660 11673 ネメシユ、ノルベルト
 2660 11674 李 智雨
 2660 11675 崔 海龍
 2660 11678 李 廷炫
 2660 11679 金 保俊
 2660 11681 張 毅
 2660 11683 姜 實
 2660 11684 チャンシリ、ソムチャイ
 2660 11685 金 錦艶
 2660 11686 ウィルヨノ、アンドリー
 2660 11689 姚 秋恬
 2660 11695 金 銀周
 2660 11697 姜 剛
 2660 11699 楊 濤
 2660 11700 張 弘
 2760 11749 韓 在岡
 2760 11751 李 冠平
 2730 11831 チャン・ハン・ティ
 2660 11883 惠 浩星
 2660 11884 李 曉博
 2660 11909 金 吉中
 2660 12299 玄 聖姫
 2660 12300 魏 仙芳
 2660 12301 廖 修雅
 2660 12305 ラヒミ・グラバド、ロバベ
 2660 12306 陳 梅徳
 2660 12308 張 國奥
 2660 12309 鄭 詔
 2660 12310 サフォーノフ、アレクサンドル (サーシャ)
 2660 12311 黄 千嶽
 2660 12314 黄 雷丹
 2660 12315 金 瓊庭
 2660 12322 申 春野
 2660 12323 胡 純群
 2660 12324 李 瑞秀
 2660 12327 李 強
 2660 12328 太 武高
 2670 12388 張 建発
 2730 12449 張 海東
 2660 12502 趙 柏飛
 2660 12503 尹 英和
 2660 12939 黄 永熙
 2660 12940 周 萍
 2660 12942 周 亮星
 2660 12944 グェン・ゴックミン
 2660 12945 シュレスタ、スーザン
 2660 12946 ディ、エベン・スイ
 2660 12947 ヴー・タオ・ティ トウ
 2660 12948 劉 偉
 2660 12950 トゥメンジャルガラ
 2660 12951 葛 靖
 2660 12954 マウ、ブラドリー・マヴィン
 2660 12955 グェン、ダオ・トゥック・アイン
 2660 12957 チュウチュ
 2660 12958 陳 一斌
 2660 12960 司馬義 阿布カ米提

2660 12961 馬 桂霞
 2660 12962 殷 靖
 2660 12963 阿布都熱西提 木合達斯
 2660 12964 智 旭
 2660 12965 丁 美雄
 2660 12966 安 美賢
 2660 12968 ラカボサ、クレラ
 2660 12969 ハンヤサクンチャイ、ワスポン
 2660 12972 マウン・ザオ・アウン・トエ
 2660 13272 リビエリ、シモネ
 2660 13273 張 華
 2660 13274 李 海萍
 2660 13743 陳 桂
 2660 13747 阿 龍恒
 2660 13748 史 承浩
 2660 13749 李 志旭
 2660 13750 張 雅潔
 2660 13752 黄 思珠
 2660 13753 スバイリ、タバスム・カマル
 2660 13756 謝 福台
 2660 13760 マケゲン、ロガット・セバスチャン
 2660 13761 孟 燕
 2660 13762 鄧 炳斌
 2660 13765 郭 可泉
 2660 13767 李 睿
 2660 13768 サラスワティ
 2660 14331 宝 天
 2660 14332 胡 佳筠
 2660 14333 金 海碧
 2660 14335 成 鈺周
 2660 14336 マイナ、ヴィクタ・ナンゴ
 2660 14338 朴 桂佳
 2660 14341 牛 童
 2660 14342 宋 蔚莉
 2660 14343 趙 勇
 2660 14345 田 彬彬
 2660 14346 王 健雲
 2660 14348 姜 志亮
 2660 14349 楊 光
 2660 14350 閻 素麗
 2660 14352 グルン、ロシャン
 2660 13741 白 玉冬
 2660 13742 姜 衍
 2660 13744 マダニ、モハマド
 2660 13745 楊 宗傑
 2660 13746 李 光鎮
 2660 13757 チュン・トラン ジェブ・ウィ
 2660 13758 カエルムザメル・サイフル・アザム
 2660 13759 王 勇
 2660 13763 ビッソン、ブレイン・ジョン
 2660 13764 金 麗鎮
 2660 13766 張 惠珍
 2660 14353 黄 亦斯
 2660 14354 余 相承

相談コーナー

医療関係	山分祥興 (ヤマワケヨシオキ)	〒560-8565	大阪府豊中市柴原町4-14-1 (市立豊中病院 産婦人科)
法律関係	清河雅孝 (キヨカワマサカ)	〒530-0047	大阪市北区天満1丁目8-9
税理関係	荘園福松 (ソウエンフクマツ)	〒530-0014	大阪市北区鶴野町4番 ユーフ 野村梅田A-216
マーケティング関係	大塚賢龍 (オツカケンリュウ)	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北1-6-20

学友消息(2008~2009年度)

(敬称略)

- 蔡 昶……………2008年東京に転勤しました。
潘 振興……………2008年12月末に男、女双子のパパになりました。おめでとうございます。
牛 童……………2009年4月東京で就職しました。
王 健蕃……………2009年4月広島で就職しました。
カエルムザメル・サイフル・アザム……………2009年4月母国(マレーシア)に帰りました。
李 恩我……………2008年10月韓国で就職しました。

活動報告

活動には主に2660地区主催活動、学友会主催活動があります。多数のご参加をお待ちしております。

2008年

- 7月6日(日)……………2008年度総会及び新規奨学生歓迎会 《ホテル大阪弥生》
7月6日(日)……………第一回役員会 《ホテル大阪弥生》
8月31日(日)……………第二回役員会 《がんこ》
10月12日(日)……………米山奨学生レクリエーション 《宝塚大劇場》
11月22,23日(土、日)……………2008年度秋季懇親旅行 鳥取砂丘、世界遺産石見銀山など
12月13日(土)……………地区年次大会 《大阪国際会議場》

2009年

- 1月9,10,11日(金、土、日)……………今宮戎福飴売りのお手伝い 《今宮戎神社》
1月10日(日)……………役員新年会 《がんこ寿司》
1月12日(月・祝)……………米山奨学会選考試験 《日本語教育センター》
2月1日(日)……………米山奨学生修了者歓送会 《HYATT REGENCY OSAKA HOTEL》
2月21日(土)……………ボーリング懇親大会 《大阪桜橋ボウル》
3月17日(火)……………第5回クラブフォーラム 《中央電気倶楽部》
4月12日(日)……………新規奨学生オリエンテーション 《ヴィアーレ大阪》
7月5日(日)……………2009年度総会及び新規奨学生歓迎会 《ホテル弥生予定》



●地区米山奨学生レクリエーション



●役員会



●秋懇親会



●役員新年会



●ボーリング大会